

完全復旧の日までますます元気に粘り強く取り組みます！

教頭便り

平成27年11月23日（月）

茨城県立鬼怒商業高等学校 教頭 宇都木 直之

平成27年9月10日（木）の台風18号による校舎浸水被害からの復旧を目指して、授業を再開した9月24日（木）から2か月が経ちました。当初は流されてなくなってしまった実習棟の出入りロドアも改修され、外見上は被害を感じさせないまでに回復しましたが、まだ本館・特別棟・実習棟の1階各部屋はそのままの状態が続いています。しかし、復旧への歩みは生徒・教員・保護者の皆さま、そして地域や行政関係の皆さま、そして温かいお心遣いをいただいた県内・全国の応援してくださる皆様の期待に応えるべく、少しずつではありますが、一步一步着実に進んできておりますことをご報告申し上げます。

先日は国の査察があり、実際の被害状況が細かく調査され、今後は復旧のための具体的な計画や予算の目処が立ってくることと思われまふ。先ずは不便だった電話の工事が近く予定されており、内線電話も再び配置されます。電話の対応につきましては、この2か月間様々ご不便をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。またそれ以外にも、復旧のためのお力添えをいただいた各方面の様々な皆さま方へも配慮が至らず、ご無礼等がございましたこと、重ねてお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

今、2か月前の排水作業、荷物の運び出し、廃棄・運搬、書類干し、壁・床の清掃等を、連日150名もの部活動を中心とした生徒たちと一緒に行った、9月14日（月）からの1週間を静かに振り返ってみますと、生徒も先生方も皆黙々とひたすらにやっていたなあという姿が思い出されるのです。まるで修行僧のようだったと思います。

現在は日常の平穩をすっかり取り戻し、授業に部活動に検定試験にと毎日充実した生活を送っておりますが、今後もまた予想外の不便や不測の事態にも対処していかなければならないと思っております。

完全復旧の日までは、まだまだこれからがむしろ本番と考えております。今後も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

